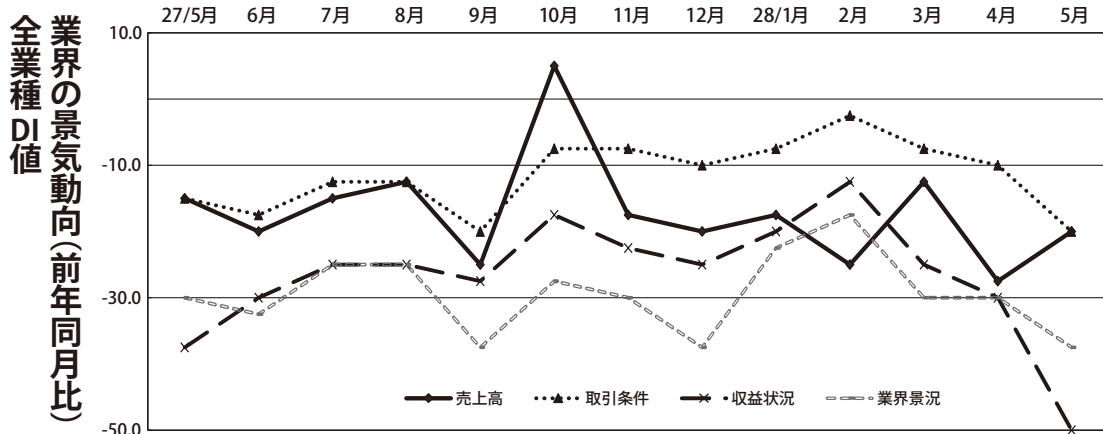


業界の今!

5月の業界の動き

平成28年5月度 情報連絡員報告



	27/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28/1月	2月	3月	4月	5月	増減
売上高	-15.0	-20.0	-15.0	-12.5	-25.0	5.0	-17.5	-20.0	-17.5	-25.0	-12.5	-27.5	-20.0	7.5
取引条件	-15.0	-17.5	-12.5	-12.5	-20.0	-7.5	-7.5	-10.0	-7.5	-2.5	-7.5	-10.0	-20.0	-10.0
収益状況	-37.5	-30.0	-25.0	-25.0	-27.5	-17.5	-22.5	-25.0	-20.0	-12.5	-25.0	-30.0	-50.0	-20.0
業界景況	-30.0	-32.5	-25.0	-25.0	-37.5	-27.5	-30.0	-37.5	-22.5	-17.5	-30.0	-30.0	-37.5	-7.5

概況

平成28年5月の前年同月比DI値は前月に比べ、「売上高」は7.5ポイント改善したが、他の項目は悪化した。「取引条件」は10.0ポイント、「収益状況」は20.0ポイント、「業界景況」は7.5ポイント悪化した。5月26日・27日に開催された伊勢志摩サミットでは特に影響がなかったと回答した業種が多かったが、県産商品を扱う業種は、PRIに繋がったとの声もあった。一方、交通規制のため、物流への影響や観光客の減少により、売上が減少したと回答した業種もあった。自動車関係では熊本地震等の影響により、出荷が停止し、減産となったとの報告があった。

伊勢志摩サミット後の販売に期待(醤油味噌・製麺)

	具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	醤油味噌	4月～5月に全国の量販店4店で「三重しょうゆ街道」という県産しょうゆなどの宣伝販売を行った。今後は、県内で行う予定である。伊勢志摩サミットでは、原材料も含め、県産醤油(伊勢醤油)が使用された。今後も県産醤油・味噌の販売に期待したい。
	製麺	伊勢志摩サミットの影響で、伊勢うどんがテレビ、ラジオなどのメディアを通して様々なところで取り上げられた。商品の安定、安全な商品作りに邁進し、ブランド力を高めていく。
	一般機器(鈴鹿)	自動車関連部品メーカーは、相次ぐ事故、熊本地震の影響による一時生産停止に伴い、協力会社各社も減産に追い込まれた。
	輸送機器	熊本地震の影響により、熊本県内にある大手自動車メーカーの二輪車工場向け部品の出荷が止まっていたが、部分的に再開し、停止分を7月以降に上乗せしての挽回計画も出てきた。その一方でまだ再開の目途が立っていない部署もあり、本格的な再開には至っていない。
非製造業	家電	5月度は毎年ゴールデンウィークによるプラスの影響もなく、販売面では前年比でやや厳しい状況である。気温差の大きい日々が続き、夏物商品(エアコン・冷蔵庫)の需要も停滞している。消費税増税も延期の見通しであり、リオオリンピック特需(4Kテレビ)に期待をしている。
	石油	5月の燃料油販売数量については、前年対比5%～6%減販であった。特に伊勢志摩サミットの交通規制等の影響において観光客の減少が大きい。産業用軽油については、トラック運送関係の需要があり、前年比4%前後の増販があった。収益については、販売価格の低迷により、厳しい状況が続いているのが現状である。
	商店街(熊野)	今年のGWは、後半に伸び悩み感があったため、前半に人出が集中したように感じる。サミットの影響も多少はあったと考えられる。また、今月末、駅前で開催された市主催のイベントは、今年も商店街の朝市イベントとの連携を図り、隣接併催した結果一層の集客効果となり、出店業者全体の売上も従来以上であった。
	内装工事業	4月に引き続いて需要の大幅な減少により、前年同月比はかなり減少となっている。新年度の立ち上がりとしては、非常に厳しい状況である。